子宮頸部すりガラス細胞癌の臨床病理学的調査研究　について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】
子宮頸部すりガラス細胞癌は子宮頸癌の中では 1-2%程度と稀な腫瘍です。発生頻度が低いことから多数例に関する解析や報告は認めず、治療抵抗性で予後不良の疾患と考えられてきましたが、最近では予後良好とする報告も散見されており、その特性と予後を解明することを目的とします。

【対象】
2002 年 01 月 01 日から 2021 年 12 月 31 日の間に原発性子宮頸部すりガラス細胞癌と診断された患者さん

【情報の利用目的及び利用方法】
疫学、治療内容、治療成績及び転帰 に関して後方視的に検討し、ホルマリン固定パラフィン包埋検体(FFPE)より次世代シークエンサーを用いた遺伝子変異解析や発現解析を実施し治療抵抗性や診断のマーカーとなる指標を探索します。

【調査項目】
<患者背景因子>
年齢、身長、体重、妊娠歴、月経歴、既往歴・合併症、治療前の子宮頸部細胞診結果、腫瘍の情報(径、進行期分類、基靭帯浸潤、腟壁浸潤、膀胱粘膜浸潤、直腸粘膜浸潤、リンパ節の評価、遠隔転移の評価、脈管侵襲の評価)、HPV、腫瘍マーカー、
〈治療関連因子〉
治療方針、治療実施時期、術前・初回・術後放射線治療の有無など、術前・初回・術後化学療法についてなど、中央病理診断((HE 染色)その他研究を進める上で必要と判断された染色は適宜追加する可能性がある)
〈転帰〉
FFPE を用いた遺伝子変異・発現解析、再発の有無・確認日・部位、再発治療と効果判定、生存の有無、最終生存日または死亡日
なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を

特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】
2002 年 01 月 01 日から 2021 年 12 月 31 日

【利用する者の範囲】
関西労災病院　産婦人科　吉岡恵美
北海道大学医学院生殖・発達医学講座産婦人科学教室 事務局担当者：石塚 泰也
連絡先：y.ishizuka0203@gmail.com
所在地：北海道札幌市北区北 15 条西 7 丁目 郵便番号：060-0815
電話：011-706-5941

【試料・情報の管理について責任を有する者】
関西労災病院　産婦人科　吉岡恵美
北海道大学医学院生殖・発達医学講座産婦人科学教室・教授 渡利 英道
所在地：北海道札幌市北区北 15 条西 7 丁目 電話：011-706-5941 役割：研究統括

【研究期間】
実施許可日～2023 年 12 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究機関・組織】
JGOG 登録医療機関 全国 183 機関(2021/05/06 現在)
参考 URL：https://jgog.gr.jp/institution/institution_map.html

【研究代表者】
北海道大学医学院生殖・発達医学講座産婦人科学教室・教授 渡利 英道
所在地：北海道札幌市北区北 15 条西 7 丁目 電話：011-706-5941 役割：研究統括

【研究事務局】
北海道大学医学院生殖・発達医学講座産婦人科学教室 事務局担当者：石塚 泰也
連絡先：y.ishizuka0203@gmail.com
所在地：北海道札幌市北区北 15 条西 7 丁目 郵便番号：060-0815
電話：011-706-5941

【当院の研究責任者】
吉岡　恵美
関西労災病院　産婦人科
〒660-8511　兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69
TEL: 06-6416-1221（代表）
FAX: 06-6419-1870（代表）
E-mail： Yoshioka-emi@kansaih.johas.go.jp